

### 3. 発達支援事業（西部子ども家庭支援センター）

心身の発達に困難を持つ子どもとその家族に対して、支援を行うことで、家族が子育てに自信を持ち、安定した生活をおくれるようになることを目的としています。



通所バス

#### <年間行事>

#### 馬と触れ合う会

5月30日（月）77名参加、11月28日（月）66名参加

学習院大学馬術部の協力により例年実施しております。  
学生の皆さまのサポートにより、心身の発達に課題があるお子さんも馬との触れ合いを楽しむことができ、貴重な経験を得られています。



#### お父さんと一緒に！

7月23日（土）12名参加

日頃、療育につき添っておられないお父さんに参加いただき、センターの事業やセンターでのお子さんについて、知ってもらえる日となっています。

#### 縁日ごっこ

9月19日（月・祝）96名参加

今年度も密を避け、2グループ制で縁日ごっこを実施しました。  
地域のお祭りも中止が多い中、喜んで参加していただきました。  
慣れている場所でのお祭りで、通所している子どもたちも動揺なく楽しめる機会となっています。



#### 家族野外交流会（いもほり）

10月16日（日）133名参加

光が丘公園近くの農園でお芋ほりをしました。  
この日はお父さんも大活躍。  
砂に触れることができなかつたお子さんが、いつの間にか泥んこになったりしています。  
普段できない経験をすることができました。  
感染防止対策により、お弁当の時間を持たないのが残念です。



#### 園外保育

\*今後各グループで実施予定

通所バスを利用し、単独通所、親子通所のグループごとに近隣に園外保育に出かけます。昨年度は「としまキッズパーク」「板橋動物公園」に行ってきました。



## 親子クッキング

12月10日(土) 13名参加

武蔵野調理師専門学校主催の親子で楽しく調理を楽しむ行事です。クリスマスのスイーツを作った後、プロが作ったおいしいお料理もいただきます。レストラン等の利用しにくさを抱えるご家族も安心して参加いただいています。



## おたのしみ会

12月9日(金) 21名参加



通所グループの子ども達が日ごろの療育の活動をお父さんお母さんに見てもらったり、音楽を楽しんだりしました。サンタさんがプレゼントも持ってきてくれました。

## 家族交流会

2月11日(祝) 予定

通所グループの保護者を対象に、家族での交流会を行います。音楽療法士の先生を交え体を動かしたり、懇談をしたりします。

## お祝い会

3月9日(木) 予定

通所グループを卒業し、学校へ入学するお子さんの門出を祝う会です。今年度は対象の学年の在籍が無いため、成長を祝う会として実施予定です。

## (2) 関係機関向け発達講座

日 程	テーマ及び講師	参加者数
第1回 11月14日(月)	第1回発達支援講座 「実際の作業療法の実践を通して 支援方法について考えよう」 講師：作業療法士 鈴木 洋介 氏	38名
第2回 2月28日(火)	第2回発達支援講座 「音楽療法を知る ～個々の子どもに合わせた音楽遊びのこつ～」 講師：音楽療法士 二俣 泉 氏	実施予定

年に2回、保育所や発達支援事業所等の方向けに講座を実施し、ZOOMでの開催。

### (3) パARENTメンター事業

発達障害児を育てた経験のある親が、自らの経験を踏まえ発達に気になる子どもの子育てを応援する事業。子どもの困難に気づいても専門機関への相談はハードルが高い場合もあり、当事者目線のメンターが話を聞くことで安心感につなげ福祉サービスや学校などの情報も伝える。東京都ペアレントメンター事業の養成研修を受け、東京都ペアレントメンター事務局に登録している。豊島区では4人のメンターが登録している。今年度は他区のメンターもお呼びし、隣接区の情報もつかえた。また昨年につき、講演会を実施した。



日時	対象年齢	メンター数	参加人数	日時	対象年齢	メンター数	参加人数
① 5/12(木)	未就学児	2人	5人	② 6/14(火)	未就学児	2人	2人
③ 6/28(火)	小学生 支援学校	2人	1人	④ 6/30(木)	小学生 支援学級	2人	4人
⑤ 7/11(火)	未就学児	2人	5人	⑥ 9/8(木)	未就学児	2人	5人
⑦ 9/21(水)	年長	2人	5人	⑧ 10/4(火)	未就学児	2人	4人
⑨ 11/7(月)	未就学児	2人	3人	⑩ 12/6(火)	小学生 講演会	3人	9人
⑪ 1/12(木)	未就学児	3人	4人	⑫ 1/18(水)	年長	2人	3人
⑬ 2/20(月)	小学生		予定	⑭ 2/28(火)	小学生		予定

\*1月末で50名参加

### (4) 今年度の発達支援事業について

〇お子さんが集団生活ができるようになると、仕事復帰をされる保護者がほとんどであるため、ここ数年の動向としては、発達支援の通所グループ（親子グループ、単独通所グループ）のニーズは減少傾向である。その反面、個別指導のニーズが高くなってきている。

今年度は、個別指導3~4か月待ちという待機期間を短縮させるため、9月から近隣の区民ひろば2か所（区民ひろばさくら第二、区民ひろば千早）のお部屋をお借りし、言語指導と作業療法を計20コマ増設した。早く利用ができるようになったため利用者にも好評であり、次年度以降も協力をいただきながら継続予定である。

〇保護者会のZoom開催を数回実施した。保護者からは参加しやすいと感想をいただいているが、保護者同士の交流が少なくなってしまうデメリットがあり回数は検討していきたい。

〇今後も必要なサービスを継続して提供していけるよう、感染防止対策と数年来の課題であるワーカ-の質向上について取り組んでいく。

# 令和4年度 発達相談・児童発達支援事業 年間統計

令和4年12月31日現在

参考資料

## 1. 相談総数

相談者数(人)

区分	発達相談		小計	専門相談		小計	合計
	契約(無)	契約(有)		契約(無)	契約(有)		
4年度	906	344	1,250	1,322	818	2,140	3,390
前年同期	1,277	458	1,735	1,177	956	2,133	3,868

## 2. 相談内訳ほか

(1) 発達相談内訳(内容別) (件) ～子ども家庭支援ワーカーによる相談～

区分	療育方針	発達把握	医療	訓練	教育	家庭生活	昆学	その他	合計
4年度	464	686	17	0	8	4	67	4	1,250
前年同期	585	986	14	0	0	1	115	34	1,735

(2) 専門相談内訳 契約(無) ～専門相談員による相談～

区分	小児科	小児精神科	言語	理学	作業	心理	合計
4年度	3	64	396	54	328	477	1,322
前年同期	8	52	335	55	265	460	1,175

(3) 新規相談ケース来所経路

区分	保健所	医療機関	福祉機関	保育園等	教育	区民ひろば	東部センター	西部センター	合計
4年度	71	5	2	19	1	9	11	31	233
前年同期	103	12	4	24	5	11	13	17	273

(4) 医療機関との連携数

機関名	都立大塚病院児童精神科	都立大塚病院小児科	心身障害児総合医療センター	平和眼科	あぜりあ歯科	その他
4年度	1	0	0	0	10	7
前年同期	5	1	0	0	7	1

## 3. 児童発達支援事業

(1) 障害児通所給付費契約状況(4年12月当月分)

区分	単独通所	親子通所	個別指導	支援グループ	契約数
4年度	3	11	152	5	171
前年同期	5	14	140	7	166

(2) 障害別内訳(4年12月当月分)

区分	運動障害	発達遅滞	重複障害	言語障害	その他	合計
単独通所	0	3	0	0	0	3
親子通所	0	12	0	0	0	12
個別指導	0	153	0	0	0	153
支援グ	0	5	0	0	0	5
合計	0	173	0	0	0	173

(3) 専門相談実施状況 契約(有)

区分	小児科	小児精神科	言語	理学	作業	心理	合計	
4年度	単独通所	0	0	15	5	12	13	45
	親子通所	8	0	26	19	25	39	117
	個別指導	0	0	257	51	232	71	611
	支援グループ	0	0	14	0	27	4	45
	合計	8	0	312	75	296	127	818
前年同期	単独通所	0	0	20	0	16	13	49
	親子通所	1	0	31	27	31	48	138
	個別指導	0	1	284	50	293	97	725
	支援グループ	0	0	7	0	30	7	44
	合計	1	1	342	77	370	165	956

(4) 単独通所グループ(ぞう)

区分	開所日数	出席見数	欠席見数	出席率
4年度	144	362	92	80.0%
前年同期	114	517	51	91.0%

(5) 親子通所グループ(うさぎ、ひよこ)

区分	開所日数	出席見数	欠席見数	出席率
4年度	185	448	166	73.0%
前年同期	173	508	131	79.0%

(注)

・各項目の「前年同期」は、前年同期の累計である。

・「契約」とは、障害児通所給付費の契約を指す。

・支援グループ：きりん・コアラグループを指す。

#### 4. 支援グループ

(1) 集団適応準備グループ (きりん)

区分	開所日数	出席児数	欠席児数	出席率
4年度	0	0	0	0.0%
前年同期	7	4	3	57.0%

※4年度実施無し

(2) 幼稚園・保育園児フォローグループ (コアラ：年長児)

区分	開所日数	出席児数	欠席児数	出席率
4年度	22	80	22	78.0%
前年同期	21	103	17	86.0%

#### 5. その他

(1) 親子遊び広場 発達相談事業 (パオパオ) ※区民ひろばでの出張相談会

区分	開所日数	参加組数	参加人数
4年度	31	112	219
前年同期	28	95	191

(2) 発達支援事業 相談グループ (たまごグループ) 29年度より開始

区分	開所日数	のべ参加組数	のべ参加人数	実人数
4年度	15	38	84	21
前年同期	14	38	77	18

## 4. 子ども虐待防止ネットワーク事業（子どもの権利グループ）

### ～豊島区要保護児童対策地域協議会事業報告～

#### ① 協議会会議

会議体	日 程	主な活動内容	参加人数
(1) 代表者会議	令和4年 6月30日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業報告</li> <li>令和4年度事業計画 等</li> <li>意見交換</li> </ul>	51名 Zoom 開催＋会場
	令和5年 1月20日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊島区児童相談所設置について</li> <li>児童相談所開設後の子ども家庭支援センターについて</li> <li>令和4年度事業中間報告</li> <li>意見交換 児童相談所内覧会</li> </ul>	55名 Zoom 開催＋会場
(2) 実務者会議	5月26日（木） 第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度 事業報告</li> <li>令和4年度 事業計画</li> <li>児相センターにおける豊島区の状況</li> </ul> 講師：東京都児童相談センター 相談援助課児童福祉第二担当 課長代理 白田有香里 様 <ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換</li> </ul>	35名 会場 区民センター403
	7月14日（金） 第2回	勉強会 社会的養護について勉強会① （児童養護施設子供の家 川口亜衣様）	34名 会場 区民センター403
	9月8日（木） 第3回	勉強会 社会的養護について勉強会② （聖オディリアホーム乳児院 菊地幸様）	36名 会場 帝京平成大地下集会室
	令和4年 12月8日（木） 第4回	ネットワーク研修と同時開催 「豊島区児童相談所の概要」と「区児童相談所設置後の子ども家庭支援センターの役割」について 豊島区児童相談所設置準備担当部長 奥田晃久 豊島区子ども家庭支援センター所長 山本りか <ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換（会場のみ）</li> </ul>	28名 会場 本庁舎507-510 会議室
実務者会議	① 虐待進行管理 月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待ケースの現状と支援方針の確認</li> </ul>	児童相談センター 子どもの権利グループ
実務者会議 （ネットワーク会議）	② ネットワーク会議 月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>前月の新規受理ケースについて報告</li> </ul>	児童相談センター 美鴨・池袋・目白警察署少年係長・子どもの権利擁護委員 豊島区民社会福祉協議会 CSW 生活福祉課保健所 教育委員会 子育て支援課 子ども家庭支援センター
(3) 個別ケース 検討会議	③ 関係者会議 随時開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケースの情報共有、支援方針の検討等ケースに関わる関係機関職員等と共に、情報を共有し、支援方針や役割を確認する。</li> </ul>	

## ② 協議会の強化

### (1) 虐待対策ワーカーの対応力強化

東京都児童相談所での実習  
各種研修、勉強会参加

### (2) 関係機関との連携

#### ① 虐待防止ネットワーク研修

日時	テーマ及び講師
第1回 8月25日(木)	講演 「ヤングケアラーを知っていますか?～私たちにできる支援について～」 立教大学 コミュニティ福祉学部 助教 田中 悠美子 氏 元ヤングケアラー当事者の方 Zoom 開催+対面 参加者66名
第2回 12月8日 (木)	講演 豊島区児童相談所の開設について 児童相談所開設後の子ども家庭支援センターの役割について 講師 豊島区児童相談所設置準備担当 奥田晃久部長 豊島区子ども家庭支援センター 山本りか所長 Zoom 開催+対面 参加者78名

#### ② 子どもの権利擁護委員との連携

●子どもを権利の主体として捉え、子どもの最善の利益を追求するべく、子どもの権利擁護委員の助言を受けて活動した。3名の権利擁護委員が支援。



豊島区子どもの権利擁護委員

#### ③ 関係機関への児童虐待防止勉強会 出張講座

- 区内小学校・保育園・幼稚園
- 民生委員
- 区民ひろば
- 子どもスキップ
- 東部子ども家庭支援センター



### (3) 構成機関の拡充

令和4年度に要保護児童対策地域協議会に新たに加入されました。今後も加入の促進を進めて参ります。

認定 NPO 法人 豊島こども WAKUWAKU ネットワーク

NPO 法人 Mother's Tree Japan

一般社団法人 一燈 こどもの王国保育園 西池袋園

NPO 法人 バディチーム

サンフラワー・A 株式会社

有限会社 マ・メール

株式会社ビックカメラ ビックカメラグループ保育園 Bic Kids

東京都立豊島病院

株式会社 オリーブ・コミュニティ

### ③ 協議会活動状況

#### (1) 相談・通告件数



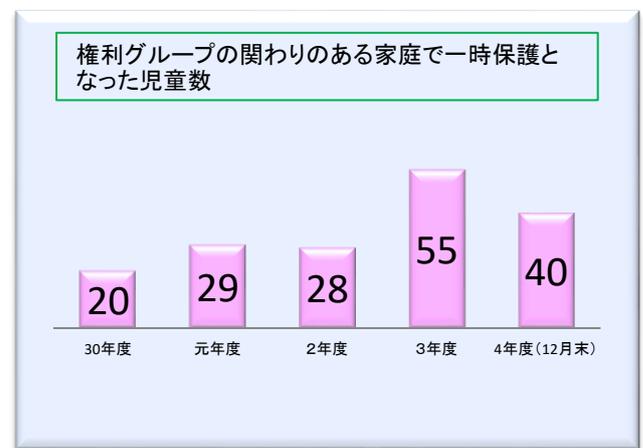
#### (2) 新規・継続の割合



#### (3) 新規受理 年代別・主訴別件数 (3年12月末)

年代別種別	ネグレクト	身体的	心理的	性的	他	合計
胎児	0	0	0	0	30	30
0~2	13	27	42	0	61	143
3~6	16	50	47	0	23	136
小学	25	55	48	1	28	157
中学	8	6	17	0	17	48
高校	6	2	8	0	5	21
不明	2	24	1	0	0	27
合計	70	164	163	1	164	562

#### (4) 一時保護



#### (5) 相談・通告経路

★ R4年度 権利Gが子育て支援課から子ども家庭支援センターに変更のため、項目追加



#### (7) 居住実態不明児対策



#### ④ 多様な虐待防止活動

<p><b>(1) オレンジリボン運動</b> 運動の趣旨を広報しつつ、様々な世代・立場の区民とリボンを作成。各種イベントで配布し、虐待防止を訴える。通年活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更生保護女性会によるオレンジリボン制作 →毎月第四月曜日実施（今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止の月あり）</li> <li>・オレンジリボン全庁職員の着用</li> <li>・専門学校との協働（オレンジリボン作成に草苑専門学校の協力）</li> </ul>
<p><b>区制90周年記念事業 オレンジリボンフェスタ</b></p> <p><b>(2) 児童虐待防止区民大会</b> ・目的： 区制90周年記念及び豊島区児童相談所開設年となるため、区長を先頭に、関係機関・区民とともに虐待ゼロに向けた決意表明を実施するため。</p> <p>10月28日（金）13：30～16：00 区民センター多目的ホール</p>	<p><b>【プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ミニコンサート</b> 「愛のカケラ」 Rin さん</li> <li>・ <b>パネルディスカッション</b> ～“家族”について考える～ をテーマにゲストをお迎えし、パネルディスカッションを実施</li> <li>・ <b>児童相談所のご紹介</b> R5.2.1 開設区児相の説明</li> <li>・ <b>児童虐待ゼロに向けた決意表明</b> 区長を先頭に登壇者全員で虐待ゼロに向けた決意表明</li> </ul> <p>参加者 180名</p>  
<p><b>区制90周年記念事業 オレンジリボンフェスタ</b></p> <p><b>(3) 池袋ハロウィンコスプレフェスタ</b></p> <p>目的 注目度の高いイベントである「池袋ハロウィンコスプレフェスタ」の参加者に特製Wリボンバッジ（ななまる+オレンジリボン+パープルリボン）を配布し着用してHP掲載や、SNS発信をしてもらうことで、児童虐待防止・DV防止に向けた普及啓発を行うため</p> <p>10月29日（土）30日（日）イケサンパーク</p>	<p>1日350個×2日間合計で700個配布。</p> <p>子どもたちにはオレンジリボンシールの配布も同時に行った。参加者でHP掲載に承諾を戴いた方の写真を豊島区HPへ掲載中。</p>   <p>部会・職員合計 22名参加</p> <p>1日350個×2日間配布の ななまるダブルリボンバッジ</p> 
<p><b>区制90周年記念事業 オレンジリボンフェスタ</b></p> <p><b>(4) 虐待防止区民講演会</b> 目的 区制90周年を記念し、例年の区民講演会を拡大開催して実施。今年は東京弁護士会を共催にて開催。豊島区児童相談所開設後も子供家庭支援センターとの両輪での子どもを守る仕組みとなることを区内外に発信し、地域で支える、見守る子育てについて考える</p> <p>10月31日（月）13：00～16：30 あうるすぽっと劇場</p>	<p>第1部 「もがれた翼（子どもたちと弁護士が作る芝居）part21 ひとりぼっちの子守歌」 上映会</p> <p>第2部 パネルディスカッション ～地域で支える・地域で見守る子育てとは～</p> <p>パネリスト 東京弁護士会坪井弁護士、ピッコラーレ中島代表理事・母子生活支援施設長・豊島区児童相談所設置準備担当部長・子ども家庭支援センター所長・長崎健康相談所長</p> <p>「特定妊婦」を題材とした劇を映像で上映し、パネルディスカッションを行った。</p> <p>参加者 137名（一般 83名 スタッフ 54名）</p>

## 区制90周年記念事業 オレンジリボンフェスタ

### (2) 「児童虐待防止街頭キャンペーン」の実施

#### 目的

11月の児童虐待防止推進月間において、児童虐待防止及びDV防止の呼び掛けを実施するため実施。

区制90周年・豊島区児童相談所開設を記念し、区内外に発信のため、休日のサンシャイン60通りにて拡大開催。

11月20日(日) 13:00~15:00  
サンシャイン60通り周辺

- ・東京都のグッズ・豊島区作成グッズ・パープルリボンとの協働でダブルリボンを配付  
配布数合計 2,035部
- ・参加者 57名(65名申込 当日悪天候予想により欠席8名)

民生児童委員・子どもショートステイ協力家庭・豊島区更生保護女性会(配布・オレンジリボン作成)

母子生活支援施設愛の家ファミリーホーム、都立千早高等学校、池袋警察署、ホームスタートワクワク・東京通信機器株式会社・東京池袋豊島東ロータリークラブ・東京池袋豊島東ロータリーアクトクラブ・草苑保育専門学校(配布・オレンジリボン作成)・男女平等推進センター(ダブルリボン作成協力)、児童相談所設置準備担当・長崎健康相談所・子ども家庭支援センター



## 区制90周年記念事業 オレンジリボンフェスタ

### (3) 養育家庭体験発表会

#### 目的

養育家庭について理解を深める

11月26日(土) 13:30~15:00  
対面+ZOOM開催

- ・東京都と共催にて開催

35名参加  
(会場参加+ZOOM)



## 区制90周年記念事業 オレンジリボンフェスタ

### (7) 子育てサポートフェスタ

#### 目的

子ども家庭支援センターの事業紹介・子育てを支援する事業等の紹介を目的とし、様々なイベントを紹介

12月23日(金) 14:00~17:00  
池BIZ 多目的ホール・調理実習室

トシマッハ・ななまる・そめふくが来場  
一緒に撮影会・ダンス・歌と色々なイベントを実施。

調理実習室では離乳食講習会  
多目的ホールではベビーマッサージ  
ピラティスなどの体験も実施。

参加者 103名



<p>(8) ヤングケアラー実態調査</p>	<p>実施期間：令和4年8月15日～9月15日に実施  対象：区立小学校4年生～6年生  区立中学校生徒  豊島区在住の高校年齢児  関係機関（教育・障害福祉・高齢福祉・児童福祉・要対協関係機関等）施設・個人  令和5年1月末に報告書完成予定</p>
<p>(5) 豊島区要支援児童等見守り強化事業  8月～1月まで6回訪問 実施  (3年目の事業)</p>	<p>「地域がつながるプロジェクト」  豊島子どもWAKUWAKUネットワークに委託し見守り支援の必要とする家庭に対して月に1回食料支援及び訪問を行い地域につながることを目的に行っている事業。</p>
<p>(6) SNSの活用（としまななまるチャンネル・Instagram・Twitter）</p>	<p>東西子ども家庭支援センターは動画配信やInstagram・Twitterを活用。権利Gは令和4年2月に連絡先等をリニューアルした、虐待防止動画アニメ配信。</p>

## ⑤要保護児童の状況

(令和4年12月末現在 速報値)

### 1. 相談・通告件数

年度	新規受理	前年度より継続	取り扱い件数	うち終了
29年度	419	314	733	424
30年度	522	309	831	514
31年度	475	317	792	385
2年度	588	407	995	621
3年度	800	374	1174	619
4年度	562	555	1117	495

### 2. 相談・通告の種別

区分	虐待					その他											合計
	ネグレクト	身体的	心理的	性的		養育困難	特定妊婦	非行	発達	不登校	家庭内暴力	性格行動	いじめ	その他			
29年度	555	188	195	171	1	178	117	21	4	0	3	2	13	0	18	733	
30年度	613	191	208	214	0	218	134	39	3	0	4	0	22	0	16	831	
31年度	594	152	226	214	2	198	132	29	2	0	1	1	18	0	15	792	
2年度	807	168	279	355	5	188	116	31	3	0	4	2	17	0	15	995	
3年度	939	181	379	371	8	235	160	32	0	0	1	0	19	0	23	1174	
4年度	834	151	338	338	7	283	206	40	1	0	0	0	20	0	16	1117	

### 3. 主な虐待者

区分	実母	実父	継母等	継父等	祖父母	その他	合計
29年度	347	169	1	16	2	20	555
30年度	357	196	1	12	0	47	613
31年度	356	189	1	6	3	39	594
2年度	478	270	1	12	5	41	807
3年度	537	349	3	5	3	42	939
4年度	444	341	3	0	1	45	834

### 4. 相談・通告児童の年齢

区分	胎児	0～2歳	3～6歳	小学生	中学生	高校生	不明	合計
29年度	21	184	166	226	91	44	1	733
30年度	39	171	213	274	86	41	7	831
31年度	29	210	186	241	84	37	5	792
2年度	33	228	213	345	109	47	20	995
3年度	33	278	256	415	121	45	26	1174
4年度	40	273	206	367	134	64	33	1117

### 5. 相談・通告経路

区分	近隣	家族・親戚	児童本人	区子ども家庭支援センター(子家C)	区子ども家庭支援センター(権利G)	区子育て支援課(女性相談)	区子育て支援課(その他)	区生活福祉課	区役所他課	民生・児童委員	保健所	保育園	スキップ・ジャンプ	区民ひろば	幼稚園	小学校	中学校	教育委員会	医療	警察	児童相談所	その他	合計
29年度	32	47	0	191	—	—	—	17	36	11	71	68	11	—	—	43	22	19	38	19	44	64	733
30年度	28	35	0	72	99	65	5	22	24	27	58	90	16	3	5	56	15	17	46	24	52	72	831
31年度	38	33	0	50	94	55	6	19	29	14	40	91	9	3	2	62	20	19	48	23	78	59	792
2年度	39	61	0	55	137	40	5	18	31	11	51	69	20	0	4	83	32	15	40	24	200	60	995
3年度	50	57	2	87	228	23	7	18	32	22	54	60	29	0	6	127	29	18	22	11	221	71	1174
4年度	28	51	2	96	254	17	8	13	25	16	56	75	23	3	0	112	23	17	27	13	192	66	1117

※子家C、権利G、女性相談、その他は30年度より区子育て支援課から細分化した。29年度以前は区子育て支援課(子家C)に含まれている。区民ひろば、幼稚園は30年度から新設。

### 6. 一時保護の状況

区分	一時保護	(内 乳児)
29年度	23	4
30年度	20	4
31年度	29	4
2年度	28	2
3年度	55	6
4年度	40	3

### 7. 送致・援助要請の状況

区分	送致	援助要請	合計
29年度	11	8	19
30年度	11	11	22
31年度	15	12	27
2年度	9	19	28
3年度	21	20	41
4年度	27	12	39

### 8. 逆送致(都→区)の状況

区分	送致	協力依頼	指導委託
29年度	—	—	—
30年度	—	—	—
31年度	21	0	0
2年度	122	15	0
3年度	139	22	3
4年度	76	22	0

※令和元年10月開始

### 9. 終了ケースの状況

区分	非該当	改善	助言	施設入所	転出	合計
29年度	37	228	108	9	42	424
30年度	86	274	107	13	34	514
31年度	59	189	68	8	61	385
2年度	63	308	188	15	47	621
3年度	102	271	212	7	27	619
4年度	43	257	162	5	28	495

## 【課】 令和 4 年度の取り組みについて

### 【課題1】 社会の機運が高まる中、ヤングケアラーへの支援をどのようにすすめるか

(内容)

ヤングケアラーにおいて、友人関係が希薄になり孤立する、不登校になる、進学や就職を断念するというケースが発生し、社会問題となっており、国がヤングケアラーへの支援について令和4年度から3年間を集中取り組み期間と定めた。

豊島区もこれまで、それぞれの機関で個別に対応していたが、ヤングケアラーの支援には、教育、精神保健、高齢者福祉、障害福祉、児童福祉、自立支援のほか、民間団体とも連携をとり包括的な支援を実施する必要がある状況の中、ヤングケアラーへの支援について、庁内の関係課連絡会を3月に実施。その中で、今後の具体的取り組みについての方針を決定した。



**【令和 4 年度 第3号補正】 豊島区ヤングケアラー支援体制強化事業： 5,350 千円**

★ 目的：実態を把握するための調査を実施し、今後の支援に活かす

- ヤングケアラー実態把握調査委託費用
- 普及啓発リーフレット作成・配布

### 【課題2】 西部子ども家庭支援センターにて実施している児童発達支援個別専門相談に

において、相談対応数を上回る相談依頼があり、相談できず待機者が発生している

(内容)

年々発達障害を疑う親からの相談が多くなり、専門相談を待つ待機者が増加している。専門相談員や道具、実施する場所も不足している状況である。特に場所については、西部子ども家庭支援センター以外の区民施設等も含め検討することとした。



**【令和 4 年度 第3号補正】 発達支援事業の拡充： 2,618 千円**

★ 目的：新規相談枠40枠/月を拡充した(場所:区民ひろばにてサテライト実施)

- 作業療法士・言語聴覚士への謝礼
- 検査道具費用等